

㊦ (小計 54点)

問一 (10点) 幼稚園の暗黙のルールで、先生はネイルをしないことになっているのに、ネイルを取り忘れていたのを園児に見つかってしまった、これ以上さわがれて他の先生に気づかれたくないと思ったから。

問二 (6点) 萌香ちゃんの爪かみでギザギザになった爪を見て驚いている。

問三 (12点) 以前は泰子先生のことを、いつも高圧的で、自分は好かれていないと思いついていたが、泰子先生が自分の日頃の努力を認めてくれたことを知り、強い口調も威圧的に感じなくなったということ。

問四 (12点) 私がネイルをつけ続けたのは、ピンクのネイルをキレイと言ってくれた萌香ちゃんが、私の爪にあこがれて爪かみをやめてくれることを願ったからということ。

問五 (14点) 子どもたち一人ひとりと向き合いながら、日々試行錯誤を繰り返して、子どもや保護者や他の先生たちと心を通わせて子どもと一緒に伸びていける幼稚園教諭という仕事にやりがいを見出している。

㊧ (小計 36点)

問一 (12点) 道をつくる際の役割分担や協同作業を通して、お互いの特技を理解し、さまざまな情報を交換することで、地域の人々がつながり合い、安心感を生み出していたということ。

問二 (12点) 明治以降、税金が個人に課せられるようになり、工業化や都市への人口の流入が起こると、農業に比べて協同作業の少ない生活をするようになり、個人が干渉されなくなったため、道路の舗装や掃除などが行政任せになったというところ。

問三 (12点) 活動人口を増やすことで、孤立化していた人々も結びつきを取り戻し、その一方で、窮屈すぎないように調整されたコミュニティをつくっていくべきだということ。

㊨ (小計 10点)

- (1) 暖冬
- (2) 有益
- (3) 異存
- (4) 筋書
- (5) 青天白日

【出典】

青山美智子 『木曜日にはココアを』

山崎亮 『コミュニティデザインの時代』